

## 第 2 回吹田市シティプロモーションアドバイザー会議の主な意見と市の考え方

(平成 30 年 11 月 1 日開催)

## 1 シティプロモーションに関連する事業の進捗状況調べについて

No	いただいたご意見	市の考え方
(1)	それぞれの取組がシティプロモーションの成果と結びついているか評価をすべきでは。	来年度の進捗状況調査(6月ごろ)に向け、評価の在り方について検討している。
(2)	それぞれの取組について、課題などを毎年振り返り、まとめたものを広報媒体で公表してもいいのでは。	例えば、情報発信媒体での発信回数を評価の指標にする等を検討している。
(3)	4年に1度の市民意識調査だけでなく、それにつながっていく毎年の評価が作り上げられればいいと思う。	
(4)	総合計画とのつながりを考慮してみていくと新たな取組が見つかると思う。	

## 2 平成 30 年度シティプロモーション冊子について

No	いただいたご意見	市の考え方
(1)	誰に向けて情報発信するのか、対象者を絞って作成しないと全体のイメージが散漫になる。若い人や子育て世代を中心に絞ったほうがいいのでは。	全市民が対象ではあるが、その中でも子育て中の若い世代を主な対象者として冊子作りを進めている。
(2)	来年度作成のホームページでは毎月市民を紹介するなどして定期的に更新してほしい。	市の良いところをPRする冊子というスタンスは変わらないが、他部署の意見も取り入れ、表現に注意をしながら進めていきたい。
(3)	デザインを重視する情報発信でいいが、ユニバーサルデザインに配慮してほしい。	
(4)	学力ランキングの掲載等、学力が高い・裕福な市というイメージだけを先行させて発信すると埋もれてしまう課題が出てくる。	
(5)	市の良いところをPRするものなので、強みを掲載すれば良いと思う。ただ一定の配慮は必要なので他部署と連携をとって配慮しながら発信すべき。	
(6)	地域格差を良しとするのではなく、街全体で底上げをしていくという視点があれば良いと思う。	
(7)	紙媒体とホームページを併存させながら、どちらに重点を置くかはっきりさせることが大切。	

## 3 SNSの活用について

No	いただいたご意見	市の考え方
(1)	ハッシュタグのつけ方をもっと工夫すべき。フォロワーの多いアカウントを研究した方が良い。たくさんハッシュタグをつけた方が良い。	ご意見を参考に、ハッシュタグは投稿内容に応じて、投稿の多いハッシュタグをつけるようにしている。 今後もより多くの人に見てもらえるよう、面白く、ためになる情報発信をしていきたい。
(2)	SNSをよく使っている人の意見が通りやすい職場の雰囲気作りも大切。	
(3)	グルメ情報はよく見られる。太陽の塔もかなり見られると思う。	
(4)	「すいたんといっしょ」の企画はもっと認知されるようなやり方を考えて広まればいい。	